

美濃陶磁歴史館だより



連続 うちんたあのお宝、なんやね？

コラム 第13回 曾木の打囃子（曾木町）

中馬街道の文化を守り伝える

土岐市には指定無形民俗文化財が2つあります。1つは妻木八幡神社の流鏝馬、もう1つが曾木町に伝わるお囃子「打囃子」です。今回は、打囃子を紹介します。

曾木の打囃子は、江戸時代に中馬街道を経て愛知県岡崎市から伝わったとされます。現在、「岡崎笛」「細野笛」など10曲が伝わります。使用する楽器は、縮太鼓、胴長太鼓、篠笛の3種類。以前はこれに拍子木、銅拍子などが加わっていました。

昭和34（1959）年に市無形文化財に指定され、現在、土岐打囃子保存会会員10人程で活動しています。日ごろから練習を積み重ね、曾木神社の祭りや曾木公園もみじまつりなどで演奏してきます。

保存会では、演奏活動のほか、地元の濃南中学校で演奏指導を行っています。同校では、曾木・

鶴里地区の文化を学ぶ「中馬の間」を設け、3年間で地域の文化を学習します。1年生は中馬街道筋に伝わった馬子唄の節を元に作曲された「中馬馬子唄」に合わせた踊りを学習します。2年生は「打囃子」の演奏、3年生は自作の陶芸作品を「希望の窯」と名付けられた新窯で焼成します。

1年生と2年生は、半年間の学習の後、学校の発表会「中馬会」で、それぞれ踊りと演奏を披露します。昨年11月18日に行われた中馬会では、2年生18人が打囃子の曲の中から「岡崎笛」を演奏しました。4月に練習を始めた時は、音を出すことも難しかったという篠笛、曲のリズムを決める太鼓、それぞれの音色が合わさり、見事な演奏でした。

曾木・鶴里地区には、中馬街道筋を軸に生まれた文化が今に息づいていることが感じられます。



▲土岐打囃子保存会 演奏の様子



▲2年生による打囃子の発表
(濃南中学校「中馬会」にて 11月18日撮影)

記録映像 公開中

美濃陶磁歴史館のロビーで、打囃子の記録映像が視聴できます。そのほか、YouTubeに公開しているほか、DVDの貸し出しも行っていきます。ぜひご覧ください。

◀ DVD 貸出窓口▶

美濃陶磁歴史館、市図書館、市立公民館、市立小・中学校、文化スポーツ課
※貸出しの詳細は、各施設へ問い合わせください。

寄贈の報告

小谷陶磁器研究所で使用された印花型168点をご寄付いただきました。

小谷陶磁器研究所は、安藤知山氏が窯業の後継者育成のため、昭和27年に下石町に設立した私設研究所です。いただいた印花型の一部を、研究所の歴史とともに特別展で展示しています。

ご寄付ありがとうございました。 (寄付 各務典子様)



特別展のご案内



会期 2月13日(日)まで

美濃陶磁歴史館 (☎) 1245